



< 令和8年度 魚津市当初予算の概要 >

No.1

■一般会計：212億3,600万円（前年度比：△3億5,200万円 △1.6%）

※R7に次いで
過去2番目の規模

<一般会計 歳入・歳出>

（単位：百万円）

区分	R8当初	R7当初	増減
歳入合計	21,236	21,588	△ 352
市税	6,817	6,445	372
譲与税・交付金	1,506	1,452	54
地方交付税	3,720	3,720	0
国県支出金	4,453	5,346	△ 893
市債	1,302	1,566	△ 264
建設事業債	1,302	1,566	△ 264
臨時財政対策債	0	0	0
寄附金	807	607	200
基金繰入	1,135	1,057	78
財政調整基金	400	150	250
公共施設整備基金	50	220	△ 170
地域づくり基金	530	500	30
その他基金	155	187	△ 32
その他	1,497	1,395	102
歳出合計	21,236	21,588	△ 352
人件費	3,107	3,075	32
扶助費	3,864	3,877	△ 13
公債費	1,618	1,597	21
物件費	4,119	3,983	136
補助費等	2,965	2,681	284
繰出金	1,968	1,951	17
普通建設事業費	2,103	3,049	△ 946
災害復旧費	33	33	0
その他	1,459	1,342	117

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

行政経営方針における重点項目

<未来の暮らしを支える社会基盤の強化（未来特別枠）> 6億6,856万円

※令和7年度3月補正（8,400万円）を含めて7億5,256万円

人口減少社会に対応した社会基盤を強化するため、円滑に移動できる公共交通の構築や、様々な分野に顕在する地域課題の解決に向けた地域社会DXの推進により、安心して快適に暮らし続けることができるまちの実現を目指す。

<第5次総合計画に掲げる重点施策>

5億5,666万円

※令和7年度3月補正（7,437百万円）を含めて6億3,103万円

①魅力あるしごとの創出と 若者や女性にも働く場として選択されるまちの実現	2,055万円
②にぎわいの空間の創出と 魚津への新しいひとの流れの創出	3,186万円
③安心・安全な暮らしを守り、 子どもを地域全体で育てるまちの実現	1億1,746万円
④活力ある地域づくりとデジタル技術の活用等により 持続可能なふるさと魚津の実現	3億8,679万円

◇歳入は、賃上げの実施や企業利益の増加、企業の設備投資などによる市税の増加を見込む一方で、国県支出金及び市債は、大型建設事業の完了による減を見込み、ふるさと納税や決算剰余金を積み立てた基金からの繰入金により必要な財源を確保

◇歳出は、魚津駅前広場整備等の普通建設事業費が大きく減少したが、富山労災病院への支援などによる補助費等の増加、基幹業務システム標準化や物価高への対応による物件費の増加等により、過去最大だった令和7年度に次ぐ予算規模

<未来の暮らしを支える社会基盤の強化> 668,561千円

No.2

(新) オンデマンド交通運行事業 (27,759千円)

市民バスの利便性の更なる向上や高齢者の外出促進のため、オンデマンド交通の運行を実施する。

- ◆運行日 月～土曜（年末年始除く）
- ◆実施地区 松倉・上中島・下中島・上野方・本江地区

(新) 地域公共交通計画の更新 及び利便増進計画の策定 (10,000千円)

持続可能な地域公共交通網の構築のため、利用者ニーズに合った交通体系の形成と地域の活性化に資する計画を策定する。

- ◆検討事項
 - ・オンデマンド交通導入エリアの拡大
 - ・魚津市民バスの改編
 - ・スクールバスと市民バスの混乗

(新) 富山地方鉄道 鉄道線本線あり方検討事業 (15,000千円)

市民の公共交通による移動手段を維持するため、富山地方鉄道の経営を支援するとともに、鉄道線の今後のあり方を検討するため、県及び沿線市と連携して調査を実施する。

(新) 道路維持包括管理業務 連携事業 (4,000千円)

市職員の減少を見据えた将来的な市道の維持管理体制を整えるため、県と連携した道路維持包括管理業務を試行的に実施する。

- ◆対象 幹線市道 39km
- ◆連携内容 道路パトロール業務
路面補修業務

(新) 富山労災病院への運営支援 (300,000千円)

全国的に病院経営が厳しさを増す中で富山労災病院が今後も本市における地域医療の中核を担うことができるよう、病床機能転換を中心とした経営改善の取組期間における運営を支援する。

- ◆期間 令和8～10年度（3年間）
- ◆支援額 3年間で6億円を上限

富山労災病院



(継) 松倉コミュニティセンター整備事業 (203,200千円)

松倉コミュニティセンターの老朽化に伴い、旧松倉小学校敷地に防災機能や松倉城跡などの歴史顕彰機能を備えた施設として建替え整備する。

- ◆令和8～9年度
建築工事、外構工事
- ◆令和9年度 供用開始



イメージ図(株)押田建築設計事務所

(新) 中学校体育館空調整備事業 (37,400千円)

児童生徒の学びの場であり、災害時に指定避難所となる学校体育館の空調設備整備に向けた設計を行う。

- ◆対象 中学校2校の体育館
- ◆内容
 - ・ガス式ヒートポンプ
 - ・断熱化・長寿命化工事を併せて実施

(継) 新庁舎整備事業 (68,202千円)

新庁舎の整備に向けて、建築デザイン、構造、機械・設備、オフィス環境などの具体的な整備内容を示した「基本設計」及び建築を施工するための詳細な設計図書（設計図、仕様書、工事積算書など）を示した「実施設計」を策定する。

- ◆令和7～9年度
基本設計及び実施設計
- ◆令和9～11年度
建築工事
- ◆令和12年度
新庁舎供用開始
現庁舎解体工事、外構工事



外観イメージ(提供:石本・中川設計共同企業体)

(新) ゼロカーボンシティ推進事業 (3,000千円)

市内中小企業の再エネ設備の導入促進等を図るため、金融機関等と連携した「脱炭素コンソーシアム（仮称）」を令和8年度に組成し、中小企業向けの支援事業を実施する。

- ◆支援内容
 - ・エネルギー診断費補助
 - ・再エネ融資活用手数料補助

(新)避難所生活環境改善事業 (84,000千円) 【3月補正】

体育館などの指定避難所における寒暖対策や、プライバシーに配慮した空間の確保など、避難所生活環境の改善を図るための設備や備品を整備する。

- ◆整備内容
 - ・移動式エアコン及び発電機
 - ・テント式パーティション
 - ・簡易ベッド、段ボールベッド
 - ・防災倉庫
 - ・ラップ式トイレ及びテント
 - ・リフト付トラック



＜総合計画の実現（重点施策）＞ 556,657千円

No.3

①魅力あるしごとの創出と

若者や女性にも働く場として選択されるまちの実現 20,550千円

(新) 男性の育児休業取得促進事業者支援事業	2,000千円
(新) 医療・福祉従事者移住支援事業	7,800千円
(新) 有機物活用センター（堆肥舎）利用支援事業	600千円
(拡) 職業能力開発支援事業	300千円
(新) 地域共創サテライトオフィス定着促進事業	4,000千円
(新) デジタル人材育成支援事業	3,850千円
(新) サテライトオフィス等誘致コーディネーター設置事業	2,000千円

②にぎわいの空間の創出と

魚津への新しいひとの流れの創出 31,856千円

(新) 納食体験型子育て世帯移住促進事業	1,600千円
(新) 関係人口交流拠点形成事業	2,000千円
(新) 第4次魚津市観光振興計画策定事業	1,364千円
(拡) インバウンド推進事業	8,100千円
(新) 「魚津カニ活」キャンペーン事業	4,500千円
(新) 都市マスターplan策定事業	8,992千円
(新) 埋没林博物館ハイビジョンホール映像ソフト更新事業	5,300千円
(新) うおづ助っ人マッチング事業【3月補正】	1,371千円
(新) クリスタルガーデン再整備事業【3月補正】	55,000千円
(新) 天神山周辺環境整備事業【3月補正】	18,000千円

③安心・安全な暮らしを守り、

子どもを地域全体で育てるまちの実現 117,458千円

(新) 放課後児童健全育成事業費補助金	6,897千円
(新) 午睡チェックシステム導入	592千円
(新) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	4,533千円
(新) 妊婦のRSウイルスワクチン接種事業	6,150千円
(拡) クマ被害対策事業	600千円
(新) 地区別空家対策セミナー	472千円
(新) 英語学習アドバイザー配置事業	1,090千円
(新) オンラインすまいる事業	1,004千円
(新) ふるさとカルタ作成事業	2,000千円
(新) 小学校給食の無償化	94,120千円
(拡) 通所型サービスC「元気アップ教室」【介護特会】	8,640千円

④活力ある地域づくりとデジタル技術の活用等により

持続可能なふるさと魚津の実現 386,793千円

(新) まちづくりアイデア実現事業	1,600千円
(新) SMS配信システム導入	300千円
(新) 自治会合併支援助成金	200千円
(新) DX推進調査事業	1,500千円
(継) ゼロカーボン重点対策加速化事業	107,766千円
(継) 公共施設照明のLED化	123,983千円
(新) 片貝コミュニティセンター施設拡充事業	11,275千円
(新) マイナンバー窓口への書かない窓口システム導入	1,082千円
(新) 農村RMOスマートサクセス支援事業	2,000千円
(新) 地籍調査事業（鹿熊地区）	37,815千円
(新) 旧十二銀行魚津支店事務所等（米倉）国指定推進事業	5,327千円
(新) 上中島小学校跡地整備事業	93,945千円

物価高騰の影響を受ける市民や事業者への支援（国の重点支援地方交付金活用事業）

①県と連携した事業者支援 20,866千円【当初】

- ◆ 高齢者施設、障害福祉施設、保育施設に光熱費等の高騰分を支援
- ◆ 畜産事業者に飼料価格高騰分を支援
- ◆ 漁業者に燃料費及び電気料の高騰分を支援

②UO!トク!商品券発行支援 20,000千円【3月補正】

- ◆ 12,000円分の商品券を10,000円で販売
プレミアム率20% 15,000冊発行予定
- ◆ 6月販売、7～9月利用可能

③高齢者・低所得者支援 89,426千円【3月補正】

- ◆ 65歳以上の高齢者及び生活保護受給者にUO!トク!商品券5,000円分を配付
- ◆ 対象者：令和8年6月1日時点の該当者

<令和8年度当初予算における財源対策の概要>

①中期財政計画時点の財源不足額見込	2.7億円
②予算編成過程での負担増加要因	7.2億円
・労災病院への支援	3.0億円
・義務的経費の増（人件費、公債費、扶助費）	1.2億円
・一部事務組合等負担金の増	1.5億円
・物価高騰による負担増（委託料等）	1.5億円

以下により財源不足を解消

・市税等の一般財源の増	2.0億円
・事業の終了や見直し等による減	2.2億円
・基金の活用	5.7億円
（中期財政計画時5.6億→当初予算11.3億）	

【参考：行財政改革の取組】

(単位：百万円)

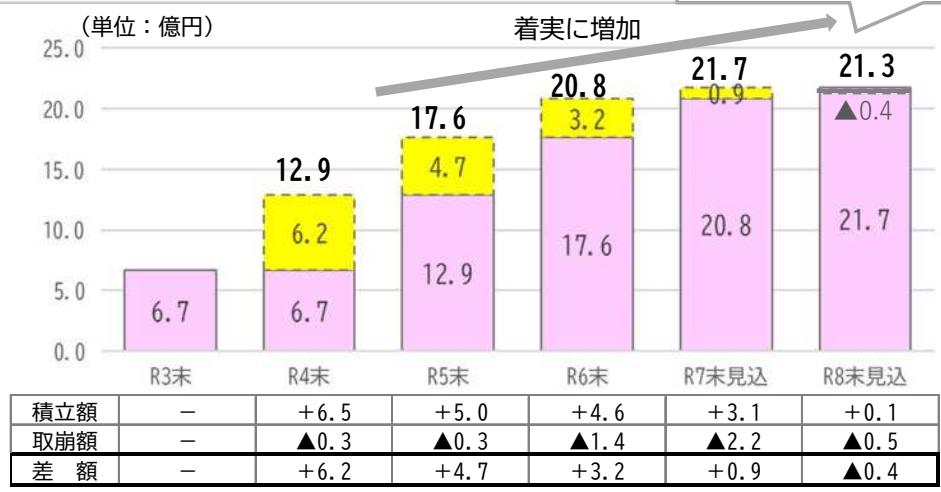
区分	R8削減額	備 考
①財源の見直しによる市負担抑制	7	国の補正予算等の活用
②事務事業の見直し	213	事業の終了・廃止・減額
合計	220	

- ◇令和8年度においても、中期財政計画を踏まえ、事務事業の見直しなど行財政改革の取組を継続的に実施
 ◇スクラップ・アンド・ビルトの徹底により財源を確保のうえ、特別枠や重点施策における新規事業等の財源に活用

<基金年度末残高の推移>

(単位：億円)

区分	R3末	R4末	R5末	R6末	R7末見込	R8末見込
財政調整基金	8.6	10.6	12.6	12.1	17.2	13.2
減債基金	5.3	4.7	4.5	4.7	4.1	3.1
公共施設基金	6.7	12.9	17.6	20.8	21.7	21.3
地域づくり基金	4.1	6.4	6.0	7.2	8.2	6.9
その他基金	5.9	6.0	5.6	6.0	5.2	4.9
合計	30.6	40.6	46.3	50.8	56.4	49.4

<公共施設整備基金への積立イメージ>R8年度末までに
残高20億円以上を達成見込

※R8の積立額は利子分のみ計上。中期財政計画に基づく積立予定額（3.0億円以上）は、決算剰余金等を活用して補正予算で計上予定。

◇令和8～10年度の労災病院への支援（3年間で6億円を上限）に備え、令和7年度12月補正で決算剰余金6.0億円を財政調整基金に積立て。うち3.0億を令和8年度に取り崩すが、適正な水準の残高（10億円超）は維持

◇引き続き中期財政計画に基づき公共施設整備基金への計画的な積立を行い、新庁舎やコミュニティセンター等の整備に備えて財政基盤を強化